

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院歯科口腔外科に、顎骨嚢胞、顎骨腫瘍で通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学歯科口腔外科学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

口腔外科手術における手術部位感染のリスク因子に関する後ろ向き観察研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学歯科口腔外科学講座 助教 田坂ゆかり

3. 研究の目的

口腔外科手術における手術部位感染はよく知られた合併症の1つです。発症リスク因子を解析することにより、手術部位感染の発症率を下げることであれば患者さんのQOLを維持するだけで無く、在院日数の短縮や医療費削減など様々なメリットがあると考えています。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

顎骨嚢胞、顎骨腫瘍の患者さんで、2010年4月1日から2023年3月31日までの期間中に、全身麻酔下にて手術を受けた方

5歳～18歳の未成年の患者さんも対象となります。

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、患者情報（性別、年齢、治療開始日、既往歴）、疾患情報、生活歴・アレルギー、手術部位感染の有無、CT画像所見、血液学的検査に関する情報です。2023年3月31日までの情報を利用させていただきます。

(3) 方法

診療録をもとに、後ろ向きに情報を入力し、すべての情報が収集できれば統計分析を行います。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。（上記に記載している未成年者さんに関しましては、親権を持つ方がご連絡ください。）研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 資金源及び利益相反等について

本研究は、講座研究費によって実施します。

利益相反はありません。

8. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学歯科口腔外科学講座 担当医師 田坂ゆかり

TEL : 073-441-0643 FAX : 073-441-0643

E-mail : yuka-tp@wakayama-med.ac.jp